

豊かな生活環境の創造に向けて

良質な工事・製品の提供

方針に基づき、ニーズに応じた高い品質を確保します

大林道路の品質の維持・向上への取り組みと、安全・安心な環境の創造に資する技術を紹介します。

品質方針

私達は確かなものづくりにより顧客・社会からの信頼に応えます。

- ①顧客・社会からの要求に対する迅速な対応
- ②人材育成及び業務の継続的改善に努め確かな技術を製品に反映

水素ステーション建築工事完成 (岩谷産業)

総合エネルギー企業で、水素分野のリーディングカンパニーである岩谷産業株式会社様が、国内での先駆けとして、燃料電池自動車向け水素ステーションを20カ所設置することを表明されました。

本工事は、その一環として計画され、完成した建築工事です。「究極のクリーンエネルギー」にふさわしいデザインと、安全、機能性を備えた水素ステーションとしてお渡しすることができました。



物件概要

- 工事名: イワタニ水素ステーション 埼玉戸田新築工事
- 発注者: 岩谷産業株式会社
- 工事場所: 埼玉県戸田市大字新首字声原
- 工期: 平成26年11月10日～平成27年4月15日
- 工事概要: 鉄骨造
- 建築面積: 127㎡
- 延べ面積: 160㎡
- 現場代理人: 丸 武司
- 建築担当者: 権 成真



岩谷産業株式会社 常務執行役員 美澤秀敏様

発注者である岩谷産業株式会社常務執行役員美澤秀敏様に、本件工事についてご評価いただきました。

水素社会実現の一環としての水素ステーションの建設を「高品質」「標準化推進」をキーワードに発注致しました。

定められた完成期限は非常にタイトなものでありましたが、無事工期内に完成し、満足のいく施設を建設して頂きました。

この経験を活かして、今後ともご協力を賜りたいと考えております。ありがとうございました。

北陸地整で凍結抑制舗装フィールド実験に当社2件選定

平成26年度に北陸地方整備局が新技術活用システム (NETIS) の一つである「フィールド提供型」の凍結抑制舗装の公募があり、10社11技術の試行工事が実施されました。当社は、物理系凍結抑制舗装で最大の施工実績を誇る「ルビット舗装」と「ルビット舗装」をさらに発展させ、冬期だけでなく雨天時の走行安定性も向上させた「アイストッパー」の2技術が選定されました。1冬目には、高い効果が立証されています (右写真)。

今後は、国交省の検証だけでなく、社内でも追跡調査を継続して実施し、当社技術の優位性を実証していく予定です。



一般舗装



アイストッパー

ワークショップ (体験学習) で憩いの広場づくり

「学生が使える広場をつくりたい」という学生の発案から、東京家政大学の大学構内において整地工事を行い、その後、学生を交えてのワークショップを開催しました。ワークショップには学内の幅広い学科から3日間で総勢24名もの学生が参加してくださいました。



整地前
薄暗くあまり人が寄らなかった駐輪場

整地工事



整地後
整地後は見違えるほど明るい広場に

ワークショップ開催



ワークショップ後
ベンチなどが置かれ、人が集まる憩いの広場完成

ワークショップ内容

生コン打設

ベンチとウッドデッキの基礎ブロックを作ります。セメント・砕石・水の配分を教わったのちは学生自ら生コンをつくり、型枠に流し込みます。



レベル測量

レベルを見ながら自分たちで作った基礎ブロックを据え付けます。18個のブロックの高さがそろるように少しずつ何度も修正する繊細な作業です。



ベンチ・ウッドデッキ制作

授業で家具などを制作する学生たちは木工は大得意! しかし、木材とコンクリートを組み合わせるベンチには手間取りました。素材の違いにさまざまな気づきがあったようです。



ものづくりが好きな東京家政大学の学生たちは、コンクリートミキサや測量機器に初めて触れ、興味津々で積極的に取り組んでくださいました。

はじめと薄暗い印象の駐輪場だったスペースは、ワークショップの後「憩いの広場」として生まれ変わり、学生たちがお昼ご飯を食べたり、付属幼稚園の子どもたちが遊んだり、その保護者がおしゃべりをする、人が集う明るい場所になったと、みなさんに喜んでいただけました。

また今回のワークショップを通し、大林道路の仕事についても理解と興味を深めていただきました。

学生の感想

レベル測量が細かな作業の繰り返しで驚きました。

広場が実際に使われている様子を見ると、私たちが作ったんだ! と誇らしく思いました。

土木作業の流れを見るのは初めてで、一つひとつの作業がとても新鮮でした。

使ってもらえるものをつくれることがすごいことだと思いました。

日常生活で大きな支えになっている道路を作るのは、大変な作業なのだと肌で感じました。

力仕事が多いのかと思っていましたが、細かい仕事や丁寧さが求められることが多く、驚きました。

ものが出来上がっていく工程や体を動かすのが楽しいなと思いました。

ワークショップ後のアンケートより

大規模修繕時代に向けた大林道路の橋面舗装技術

2015年より、主要な高速道路で大規模更新・大規模修繕事業が始まります。そのうち橋梁の床版に関する工事だけで、約15年で少なくとも「2兆円」の事業費が見積もられています。NEXCO3社だけでも大規模更新（RC床版架替：約230km）で約1.6兆円、大規模修繕（高性能床版防水等：約360km）で約1,600億円、となっています。また、国土交通省でも「速やかな修繕が必要な橋梁数」を「RC床版の補修：約2100橋」「鋼床版の補修370橋」としています。

橋梁は、主に「鋼床版」と「コンクリート床版」に大別されます。「鋼床版」では、長年の交通荷重により、デッキブ

レート自体の疲労ひび割れが発生している箇所や重交通による舗装のわだち掘れが問題となっています。また、「コンクリート床版」では、コンクリート床版自体の破損や雨水等による舗装の破損が多く発生しています。

橋面部の舗装は不具合が起りやすく、土工部と違いさまざまな制約もあるため、より高い品質や効率的な施工技術を求められるケースが多くなります。

当社では、これらさまざまなニーズに応えるべく、数多くの橋面舗装用特殊技術をラインナップし、より良い社会基盤整備に取り組んでいます。

鋼床版

●IH式舗装撤去工法

IH式舗装撤去工法は、電磁誘導（IH）加熱によって鋼床版とアスファルト舗装の境界面を加熱し、接着を緩めることで撤去を容易にする技術です。鋼床版を傷つけることが少なく、騒音・振動・粉じん等の発生を抑制し、作業時間の短縮や作業安全性の向上が実現できます。



●鋼床版上SFRC舗装

鋼床版デッキプレートの疲労耐久性向上を目的に、鋼床版上に接着材やスタッドジベル等を施した後、鋼繊維補強コンクリート（SFRC）を打ち継ぐ工法です。当社は、供用中の狭小な橋梁部にも施工可能な小型コンクリートフィニッシャー（CCF）を開発し、安全かつ高品質な施工を行っています。



●改質グースアスファルト舗装

改質グースアスファルト舗装は、従来のグースアスファルト舗装で使用していたストレートアスファルト20/40とトリニダッドレイクアスファルトを入手が容易なポリマー改質アスファルトに特殊添加剤を加えたバインダーに変更することで、耐流動性・疲労ひび割れ抵抗性や施工性を向上させるとともに、低臭気を実現した舗装技術です。



コンクリート床版

●コンクリート床版補修技術

ウォータージェット工法などにより老朽化した床版の脆弱部を撤去し、コンクリート床版の再構築を行う工法です。床版の劣化状態を調査し、床版上面部分のみ補修する方法や部分的な床版打換え工法を調査により選定します。



●遮水型排水性舗装（ポスマック）

ポスマックは、乳剤散布装置付きアスファルトフィニッシャーで高濃度改質アスファルト乳剤を多量に均一散布すると同時に排水性混合物を敷きならす工法です。排水性舗装の下部に遮水効果を付与することで、直下（基層）に水密性の層を設ける2層構造としなくても1層で構築できる費用対効果に優れた工法です。



●シーロフレックスF、 施工性改善型バインダーの開発

当社のポリマー改質アスファルト「シーロフレックス」シリーズとして、橋面舗装用バインダー「シーロフレックスF」を開発・製造販売しています。また、さらに品質を向上させた施工性改善型バインダーの開発も行っています。



関東シーロフレックス製造センター

価値ある情報の提供

お客様にご満足いただくために

大林道路はさまざまな機会を通じて、「価値ある情報」を提供しています。

技術研究所 アスファルトラボ開設

技術研究所ではかねてよりアスファルト系材料の開発を行ってまいりましたが、より効率的な研究と開発を行うために平成26年10月、新実験棟を埼玉県久喜市に開設し、「アスファルトラボ」と命名しました。

「アスファルトラボ」内のすべての試験機に概要説明板を設置し、来所されたお客様が「何をやる試験機」なのか分かるよう配慮もしています。



技術フェアなどの参加

全国各地でさまざまな展示会に参加しています。各地域のニーズに合わせた新技術をパネル、模型やプレゼンテーションにて、大勢の道路管理者やこれからの時代を担う学生、一般の方々に分かりやすく紹介しています。

フェア名	開催場所	フェアテーマ	開催日時	出展技術
EE東北 '14	夢メッセみやぎ	活かそう新技術 復興から発展へ	H26.6.4 ~ H26.6.5	アイストッパー CCF
平成26年度 建設技術報告会	富山国際会議場	—	H26.9.25 ~ H26.9.25	アイストッパー
暮らしと技術の 建設フェア in 高松 2014	高松シンボルタワー	—	H26.10.10 ~ H26.10.11	アイストッパー アイストッパー-T ルビット舗装 RIM
建設技術フェア 2014 in 中部	吹上ホール (名古屋市中小企業 振興会館)	豊かで安全な暮らしと 環境の調和をねざして	H26.10.29 ~ H26.10.30	アイストッパー IH式舗装撤去工法 メチカラベープ
建設技術展 2014 近畿	マイドームおおさか	ええもん (技術) 使こてええもん 創る!	H26.10.29 ~ H26.10.30	ニュースラバ アイストッパー-R アイストッパー-T RIM 涼豊
ハイウェイ テクノフェア 2014	東京ビックサイト 西3ホール西4ホール	—	H26.11.20 ~ H26.11.21	[ブース展示] RIM アイストッパー [パネル展示] 導光板 (共同: 写真化学)
建設技術フォーラム 2014 in 広島	広島県立 広島産業会館 西展示館	見る・聞く・ふれる 国土建設フェア	H26.11.21 ~ H26.11.22	涼豊 アイストッパー-R アイストッパー-T

(社内)

フェア名	開催場所	フェアテーマ	開催日時	出展技術
第24回施工技術発表会	曳舟文化センター	技術でガッツ!	H26.11.5	執筆報文 34 編



地球環境への配慮

地球環境と調和した企業経営に取り組んでいます

地球環境に対し、「大林道路はどのように貢献できるか」を常に考え、実践しています。

環境方針

私たちは地球や地域を汚染から守るため、環境経営に取り組みます。

- ① 法律や倫理に対して誠実な対応を行い、社会から信頼される会社を目指します。
- ② 「もったいない」気持ちを大切に、資源の有効利用を目指します。
- ③ 当社の環境技術を広め、住みたい街づくりに貢献します。

環境目標

- 2015年度環境目標
「計画的にリデュース (削減)・リユース (再利用)・リサイクル (再資源化) を推進する」

大阪支店 神戸アスファルト混合所 (神戸かるもアスコン共同企業体)の完成



神戸市長田区に環境へ配慮した新アスファルト混合所を建設し、『神戸かるもアスコン』として奥村組土木興業株式会社との共同運営を開始しました。最新鋭の都市型プラントとして燃料に都市ガスを使用し、最新鋭の脱臭装置や騒音を減少させるための外装材など、周辺環境へ配慮した設備を導入しております。都市部に隣接した立地を活かし、お客様の多様なニーズに迅速に対応するとともに、高品質の製品を安定して供給することを目指します。

東北支店 郡山アスファルト混合所 (郡山アスコン共同企業体)の リニューアルオープン

より幅広いお客様のニーズにお応えするため、郡山アスファルト混合所の設備を一新しました。廃棄物のリデュース (削減)・リユース (再利用)・リサイクル (再資源化) を推進する当社の姿勢をPRするために、3R推進協会のご協力を得て、3R活動のキャンペーンマークを混合所正面に掲げました。

また、郡山市のご理解のもと、市のイメージキャラクターである「がくとくん」と「おんぶちゃん」をサイロにデザインし、音楽都市郡山のPRにも一役買い、地域の方々にも親しんでいただける施設となりました。

